

会議の結果報告

名称	令和8年度 大島地区学校適正配置地元代表協議会【第5回】	
開催日時	令和8年7月28日（火） 19時00分～20時25分	
開催場所	吉海学習交流館 大ホール	
出席者	【委員】 会長 外19名（教育長、副教育長を含む） ※1名欠席（おおしま認定こども園宮窪地区代表） ※2名代理出席（おおしま認定こども園吉海地区代表2名）	
	【その他】 なし（しまなみ振興課主幹（吉海・宮窪地域担当）欠席）	
	【事務局】 今治市教育委員会教育政策局長 外8名	
傍聴者	なし	
議題	1	保護者アンケートの結果について
	2	望ましい学校のあり方について
	3	意見交換
議事内容	1	保護者アンケートの結果について ----- 事務局から、両地区の小学校及びこども園の保護者を対象にした学校統合に関するアンケート結果について報告した。
	2	望ましい学校のあり方について ----- これまでの協議会で出た意見及び保護者アンケート結果を踏まえ、事務局から論点整理として説明を行い、宮窪小学校での小学校統合案を提案した。
	3	意見交換 ----- ・委員から、6月の大雨警報発令時に、両小学校でどのような対応をしたか質問があり、両小学校でのそれぞれの対応を説明した。 ・委員から、吉海小学校の改修費用の明細について質問があった。 ➤事務局から、これは校舎の長寿命化工事であり、基準単価に校舎面積をかけて算出したものであることを回答した。 ➤別の委員から、どの学校でも同様に発生する費用なら、統合場所選定においてあまり考慮する必要はないのではないか、いずれ大島中学校と小中一貫化するなら、現段階で小学校施設に大きな改修は必要ないのではないかと意見があった。 ➤事務局から、吉海小学校と宮窪小学校では建築年度に大幅に差があり、宮窪小学校校舎の方が、建て替え等せず比較的長く使えること、大島地区の小中学校がどのような形態になるかは現時点では決まっていないことを回答した。 ・委員から、廃校になった施設の活用方法について質問があった。 ➤事務局から、廃校の活用方法はまだ決まっていないが、市内の廃校活用事例を参考に、今後考えていきたいと回答した。

	・委員から、他地区の児童生徒が大島地区の学校に通うこともできるかと質問があった。 ▶事務局から、基本的には校区内の学校に通うが、小規模特認校制度やデュアルスクールなどの制度を使い、他地区から児童生徒を呼び込むことはできる可能性があるという回答した。 ・委員から、吉海小学校保護者で実施したアンケート結果について、保護者からの意見に教育委員会からの回答が欲しいと発言があった。 ▶事務局から、各意見は重要な意見・要望として認識していること、記述式のため回答が多岐に渡っており、児童クラブやスクールバスに関してなど統合準備会で具体的に決めていく内容は、両小学校で共通して実施したアンケート結果と同様に、意見として受け止め、引き続き検討していくことを回答した。 ・委員から、統合後の児童クラブ設置可否について質問があった。 ▶事務局から、吉海側で適当な場所を確保し、児童クラブを継続する方針であると回答した。なお、会長から、宮窪小学校でも有資格の指導員を確保できれば設置要望可能であること、委員から宮窪公民館で夏休みにボランティアで実施されている宿題教室の状況について補足があった。 ・委員から、吉海小学校での中学校教員による乗り入れ授業について質問があった。 ▶事務局から、小学校教員が年齢・体力的に体育の指導が難しいなどの事情がある場合、中学校の体育教員が小学校で授業をしている状況であると説明した。なお、宮窪小学校で統合しても、中学校教員の時間割を調整し時間を確保することで、小学校への乗り入れ授業は可能であると伝えた。 ・委員から、統合後の吉海小学校の金管バンドについて質問があった。 ▶事務局から、統合準備会で、新しい学校づくりという点で内容を深めていきたいという回答した。 ・委員から、宮窪小学校の建設当時、将来は介護施設にする想定であったという話は事実かと質問があった。 ▶事務局から、そういった事実はないという回答した。 ・委員から、統合後も、吉海のプール（B&G）を活用してほしいという意見があった。 ・委員から、統合して数年後、他の学校と扱いが同じになっても、要望を聞いてくれないということがないようにしてほしいという意見があった。 ・次回、協議会としての意見をまとめる作業を進めるため、事務局から意見書の素案を提示し、協議することとなった。
備考	次回の開催は、令和8年9月15日（火）午後6時30分から宮窪公民館を予定。